

～極～

1 年間ありがとうございました

保護者の皆様におかれましては、今年度も大変お世話になり、ありがとうございました。本来ならば、保護者会を開き、しっかりとお礼と感謝の気持ちを伝えるところなのですが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、保護者会を中止とさせていただくことになりました。今後は、卒業に向けて学年一同取り組んでまいりたいと思います。どうぞ最後までよろしく申し上げます。

1 卒業式の確認事項とお願い

6年生	確認事項・お願い
登校	9:00～9:10
下校	11:30頃
持ち物	手さげ(上履き・卒業証書・防災頭巾を持って帰ります。)
服装	式にふさわしい服装 ※証書授与の際、お辞儀をします。スカート履く児童は、スカートの丈にご注意下さい。 ※お辞儀や写真撮影の際、髪の毛が邪魔にならないよう工夫して下さい。

★以上のように行う予定ですが、変更があり次第、またお知らせいたします。

2 思春期に大きな成長を遂げさせるために

(1) あらためて6年生とはどんな時期なのか? (※個人差があります。)

- 子供たちは、今、「児童期後半」にいます。
- 児童期後半は2つの大きな発達の特徴があります。
- 1つ目は、思春期にさしかかっていること。
- 2つ目は、認知的(考え方)に大きな変化が起きようとしていること。
- 急激な身体的変化は、子供に不安や戸惑い、葛藤、イライラなどを与えます。
- 安定していた「私」と不安定になった「私」に気付くと、「自己」や「生と死」について考えるようになると言われています。
- この時期の「成功体験」と「失敗体験」が子供の成長に大きく関与します。「成功体験」が強く自尊感情につながります。
- また、この時期に「自己の性の自覚」が始まり、本人の中でより意識され始めます。※LGBTについて大人はしっかり理解しておく必要があります。
- さらにこの時期は、思考の仕方として文字や記号を使った「論理的思考」や「抽象的思考」が可能になります。

(2) だからこうなる(※個人差があります。)

- ① 家で口数が少なくなる:これが思春期。むしろ歓迎。コミュニケーションの変化期。「大人の言っていることって本当か?」「私の言いたいことはそれじゃない!」
→閉じた扉は無理にこじ開けない。大人主導を控えて雑談を中心に。喧嘩になっても引きずらない。
- ② 親の口出しをいやがる:他律から自律への移行期。今は中間の「仲間律」。秘密をもつことで模索する自己を守る。防衛反応が反抗。自立(反抗)と依存(甘え)の揺らぎ。子供の本音は「分かってくれなくていいから認めて欲しい。」
→子供の秘密・プライバシーに立ち入りすぎない。程よい距離感で見守る。「私」メッセージで対話。今(思春期息子・娘)を肯定する。
- ③ 友達からの評価を気にする:持ち物、髪型、LINEのスタンプ…評価懸念・ネガティブ。大人から見ると些細なこと。「気にしないほうがいいよ」でますます心を閉ざし、一人で抱え込む。
→「認められている実感」が重要。
- ④ 容姿を気にする:体の変化、心の変化、異性への意識。モデルの誕生。自分に自信のない子ほど気にする傾向が強い。
→微笑ましく見守り、「安心感」を。まず相談してはこないだろうが、「これから子供から大人に変わっていくから、体も心も変化していくのだよ。皆が通る道だから心配しなくて大丈夫。いつでも相談になるよ。」とすることが大事。

(3) 「大人に批判的になること」と思春期 ～批判社会と子供～

大人に対して批判的になることは、「成長の証」と言い切れない側面があります。その主な要因として、社会全体の風潮が「大人の領域・問題に、子供を巻き込みすぎている。」ことが挙げられているのです。少し前のゆとり教育批判などもそうです。子供は耳にするたびに「私たちは大丈夫なのか?」と不安になるとともに、「大人は勝手だ!」と批判をしていたことを覚えています。

大人の領域と子供の領域を区別してあげることはとても大事なことです。子供には背負いきれないことがたくさんあります。親であれば、大人の事情(家族の愚痴、ママ友の愚痴、学校・教師への愚痴、子供の友達への愚痴など)をついつい子供に話してしまうことがあれば要注意です。これは、親(大人)の領域に侵入することを許している行為になるのです。「何を言ってもいいのだな。」と思わせてしまうのです。

では、この何が問題なのか。大人に対する批判的態度が過度になると、子供は自分の弱みを見せられず、助けを求めづらくなり、結果的に悩みを一人で抱え込むようになってしまいます。つまり、批判的な子ほど、しんどい生活を送ることになります。

だからこそ、大人と子供の境界線を明確にし、むしろ子供の愚痴に耳を傾け、安心感を与えていけるようにしたいものです。

(4) その他

- ① 早寝・早起き・三食 ←できれば一緒に
- ② 勉強から学びへ ←自主学習の重視。予習できる人は強い。
- ③ 毎日一家事 ←毎日「ありがとう」
- ④ インターネットの使い方要注意 ←ルールを守らせる 個人情報保護 いじめ

